

8月4日(火)、京都市伏見区にある「タカラサプライ
コミュニケーションズ株式会社」で、子ども記者たちが、
印刷に関する仕事をしている会社について取材しました。
印刷を通して、商品を売れるようにする工夫を支援して
いる方へインタビューし、見出しや記事を考えました。こ
どもたちの考えた見出しや文章などの表現をそのまま記事
にしています。

【タカラサプライコムニ
ニケーションズの白木さ
はなし
んのお話より】

 タカラサプライ「コミュニケーションズ株式会社」の「サプライ」は、必要なものを届けるという意味があります。そして、「コミュニケーション」は、人と人がお互いに考えや気持ちなどの、情報を伝え合うという意味があります。

この会社は、瓶やペットボトル、ラベルや包装などを準備して届ける「サプライ」の仕事と、印刷物や動画、ホームページなどをつくって伝える「コミュニケーション」の仕事をしています。

タカラサプライコミュニケーションズって？

タカラ…^{たから}宝ホールディングスの子会社
サプライ…^{ひつよう}必要な物を^{もの}準備して^{じゅんび}届ける^{とど}
コミュニケーションズ…^{つた}わかりやすく伝える




 たとえば、みんなはどんなときに、ぶんぼうぐ文房具が欲しいと思いますか？

 ひつような時、友だち
 がじまんしてきた時、便
 リそうだなと思った時、
 ユーチューブで見た時。
 そうですね、会社かいしゃが、
 どんなにいい商品しょうひんをつく
 っても、お客さんきやくさんに知ら
 れなければ買かってもらう
 ことはできません。

この会社は、商品の特徴が伝わるチラシやカタログ、動画などをつくっています。

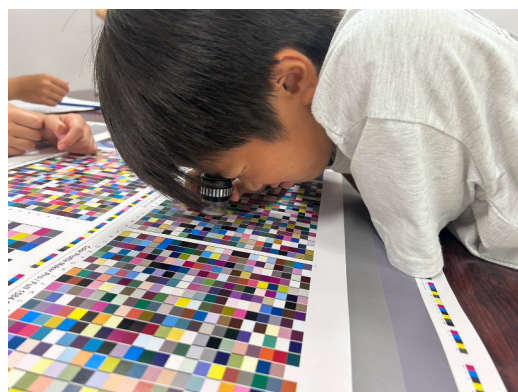
タカラサプライコムニケーションズは、「商品と、それを使う人をつなぐ仕事」をしている会社です。



【子ども記者の取材
メモ・記事より】

暮らしの中には、いろいろな印刷物がある。
 (文・小学4年生ハムスター記者、たくみ記者の取材メモより)

ルーペで印刷物を見ると、点々が見えたので、すごいなと思いました。そのルーペをのぞいてみると、かぞえきれないくらい点々があつてびっくりしました！また、じぶんの家でルーペで見ることをやってみたいです。
 (文・小学2年生ドラえもん記者)



記事の内容は、二次元コード
をスキャンすると、音声でお
楽しみいただくことができま
す。

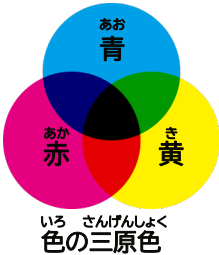


色いろがなぜ点々てんてん(まる)で

できているのかという
と、印刷いんぱつがかさなった時とき
に、色いろがきれいにで出るか
らです。（文・子ども記者
たちの取材内容より）

新聞しんぶんのしゃしんなどの印刷いんさつは、色いろの三原色さんげんしよく＋黒くろでできている。

色いろをつけるさいには、
色いろをつけるじゅんがあつ
て、そのじゅんは、く
ろ、あお、あか、き、
で、ねばりのあるじゅん
になっています。(文・小
学3年生なおたろう記者)



点々は、色の三原色で
できている！

も、点でかか
れています。
いんさつぶつ
は、点ででき
ています。ル
ーペで見
ると、点がは
きり見えま
す。いんさつ
ぶつが、ぜん
ぶ点でできて
いると、はじ
めてしりまし
た。

いんさつを
するとき点^{てん}を

うと、とてもすごいもの
なんだなとおもいまし
た。いんさつされたもの
を、ルーペなどで見て点
をみつめてみてくださ
い。(文・小学2年生にや
んにゃん記者)

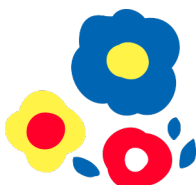
印刷の点々のことを、
あみ点という。(文・子ど
も記者たちの取材内容よ
り)



あみ点は、黒・青・赤・黄でできていました。色がうすいと、点々が小さくなって、色がこいと、点々が大きくなることが分かりました。

点があつまって、いろいろな色になり、それが絵になったり、文字になったり、写真になったりします。

印刷のじゅんばんはんは、
黒・青・赤・黄です。イ
ンクがねっとりしている
順です。(文・小学4年生
とくめい記者、ハムスタ
ー記者)



印刷では、さまざまな技術が使われています。例を挙げると、印刷では、文字などが点々でえがかれています。これを「あみ点」というそうです。

点」の「色のこさ」を決めるのは、「あみ点」の「大きさ」です。

「あみ点」の大きさが小さいと、うすい色に見えます。反対に、大きいと、こい色になるそうです。

つ（いろ）の色で、黒（くろ）色（いろ）もできあ
がるわけですが、完全（かんぜん）な
黒（くろ）色（いろ）にはならないため、
黒（くろ）色のインクも使用（しよう）して
いるそうです。「色（いろ）の三（さん）
げん色（しよく）」の他（ほか）に、黒（くろ）もま
ざって印刷（いんさつ）するそうで
す。

印刷は、黒・青・赤・黄の順番です。理由は、黒色は、どの色よりもベタベタする
 そうで、もし、黒色を一番最後に印刷した場合、他の色をはがしてしまいう
 そうです。そのため、黒色を一番最初に印刷する
 からです。

他の色は、「ベタベタする順」にならんでいるそうです。これは、すごいちえだなと思います。二つの技術を知って、ぼくは「まさによく考えられているな」と思いました。（文・小学5年生ザ・言語化記者）



ドットコードのひみつ

【タカラサプライコミュニケーションズのお話より】
ニケーションズの白木さんのお話より

音声ペンに活用されている、おもしろい印刷の仕組みを紹介します。
紙に印刷された場所を専用のペンでタッチすると、音声の流れが流れます。文、章を読んでも、説明文を聞いたりするので、音でも情報を知ることができます。

その秘密は、印刷されている小さな「ドットコード」です。見た目はゴマのような小さな点ですが、並んでいるだけに見えるまじかに、その点の並び方に情報が入っています。音声ペンがその情報を読み取ることで、「この場所は、この音を流す」と判断しています。紙の中には、目では見づきにくい情報が隠されていることがあります。

ドットコードは、バーコードや二次元コードと同じような役割をしています。このペンのことは知っていただけ、こんな仕組みがあることをはじめて知りました。(文・小学4年生たくみ記者)



タカラ
サプライ
コミュニケーションズ



ホームページ

お客様と一緒に新しい価値を生み出し、人々の今と未来によるこびをつなげることを大切にしています。

デジタル制作と印刷技術を組み合わせ、商品・サービスの企画からデザイン、情報発信、ユーザーとのコミュニケーションまで、幅広くサポートしています。

【取材協力企業】
「タカラサプライコミュニケーションズ株式会社」
印刷を起点に、商品やサービスがより多くの人に届き、選ばれるための工夫を手がけています。

走れ！大人編集長！

いつもは、子ども記者が取材する姿を見ている編集長。そんな編集長が「たまには私も取材したい!」と突然言い出し、今回は伏見区で活動する個人や団体取材しました!

音楽で「つながれれ」 ukulele

伏見区の北鍵屋公園の交流スペースでウクレレサークルを主宰されている、「つながれれ」のめぐみさんにインタビューしました。

Q. ウクレレはいつから始めたのですか?
A. 1年前(2025年)からウクレレを始めました。ウクレレを始めたきっかけは、友人の音楽仲間との集まりに参加した際、ウクレレを弾いている方に出会ったことです。

Q. なぜ、演奏会に参加しようと思ったのですか?
A. コロナ禍に育児のことで悩み、自分を責めて落ち込んでしまうことがありました。そんなとき、家事の合間に歌を口ずさむと、少し気持ちが楽になることがありました。歌うことが好きな私は、仲間に「ウクレレで、いっしょに演奏会に出てみよう」と声をかけました。人が集まって、みんなでウクレレを弾いて、楽しく過ごす時間が好きです。

Q. どのような想いを持って活動されていますか?
A. 「音楽で人が集まる場所をつくりたい!」京都市伏見区にある北鍵屋公園でウクレレサークルを行っています。みんなでウクレレの勉強会(月1回)をしたり、演奏会に向けて練習会をしたりしています。ウクレレがなくても、興味のある人は誰でも参加OKです!

つながれれの活動&最新情報は Instagramで! →

Filernowa -おかゆデザイン-

縁を紡ぎ、輪を広げる<地域応援デザイナー>

Q. デザインのお仕事を始めたきっかけはなんですか?
A. 子どもが3カ月の頃に通っていた子育てサロンの方から、「イベントのチラシをつくる人を探している」と聞き、思い切って手を挙げたことが始まりです。その後、「デザインの仕事をやってみたい!」という気持ちが強くなり、デザインスクールで勉強しました。仕事を通して、周りの方々に支えてもらいながら、自分も成長していると感じています。

Q. なぜ、デザインのお仕事に興味をもったのですか?
A. 学生時代、バンド活動の中で、ライブのチケットをデザインしていました。いろいろなチラシや雑誌を見るうちに、文字を読みやすく、きれいにさせるデザインに興味を持ちました。いつか、雑誌をつくる会社で働きたいと思うようになりましたが、その夢はすぐにはかなわず、別の仕事をする会社に就職することになりました。

Q. 今後の新たな夢はありますか?
A. 自分のブランドを作り、文房具や雑貨などをデザインして、作ってみたいと考えています。また、これから事業を始める人を、デザインの面からサポートする仕事にも挑戦したいです。その人に寄り添いながら、その事業の良いところや魅力を一緒に見つけて、どうすれば多くの人に分かりやすく伝えられるかを考えていきたいです。そして、デザインの力を使って、いろいろな人の仕事や商品の魅力を、多くの人に届けられるようになることが、これからの目標です。

こくみん共済 地域貢献助成

子ども新聞の活動は、「京都地域創造基金 言語と未来基金」の助成を受けています。

inote+P Instagram
まちにツッコむ! 子ども新聞
Curious Kids Times Instagram

inote+ あいのてがらすぴー

わたしたちinote+P(あいのてがらすぴー)は、子ども新聞の発行とともに、「対話と探究」「ケアとまちづくり」をキーワードに、地域での「こちょい場」づくりに取り組んでいます。人は、「人とつながっている」と感じる時、年齢や立場に関わらず生きる力や安心感を得ることができます。地域で暮らし、活動する皆さん、自治体や企業の皆さん。ぜひ一緒に、人生のはじめから最期まで楽しいと思える地域社会をつくっていきましょう。

・2023(令和5)年度
京都はぐくみ憲章実践推進者表彰
はぐくみアクション賞受賞

・2025(令和7)年度
京都新聞福祉奨励賞受賞

答えを覚えるのではなく、問いを育てる習い事教室 Curious Kids Times

学びのサイクル

- STEP 1 目標を立てる
- STEP 2 調べる
- STEP 3 取材する
- STEP 4 記事を書く

① 七条堀川 (西本願寺前) 月曜日 15:30~16:30
② 深草商店街 (タカギヒロバ) 金曜日 16:00~17:00

Instagramで活動をご紹介します

料理を楽しむ人を増やす おかえりごはん 咲

主幹 管理栄養士 ひらたさこ

料理をすることは自分と繋がること。それは自分の力で立てて生きること。それを毎日の生活の中でできるのが家庭料理です。

小学校卒業後約20年、結婚の創立作成や食育指導に携わる。その傍ら22年以上にわたり、「子どもが主役」の料理教室を京都・大阪を中心に開催。現在は独立し、おかえりごはん「咲」を主宰。

子どもが主役の料理教室 大人の料理教室 みそ作り・味噌調味料など

自信、達成感を得られ、自己肯定感が育つ 家族が喜ぶ 栄養満点時短料理 各種ワークショップ

英語で絵本を楽しもう!

英語がわからなくても大丈夫!
京都聖母学院中学校・高等学校 ESS 部の生徒さんと、英語絵本の読み聞かせやゲーム、歌と一緒に楽しもう!

英語のえほん 英語のうた 英語のゲーム

日時 10/17(土) 14:00~14:40
出演 京都聖母学院中学校・高等学校 ESS 部の生徒さん
対象 幼児・小学生とその保護者
定員 当日先着順 20 名程度
場所 京都市向島図書館 近鉄電車「向島駅」から徒歩約7分

主催: (公財) 京都市生涯学習振興財団 京都市向島図書館 協力: 京都聖母学院中学校・高等学校
問い合わせ: 京都市向島図書館 〒612-8141 京都市伏見区向島二ノ丸町 151-35 075-622-7001